

A. 日時 2012年11月6日(火) 17:00~19:00

B. 場所 建築会館 304 会議室

C. 出席 主査：羽山広文、幹事：(柳井崇)、郡公子、委員：(赤司泰義)、(秋元孝之)、(石川幸雄)、石野久彌、(猪岡達夫)、(宇田川光弘)、岡建雄、川瀬貴晴、古賀誉章、(小林陽一)、坂上恭助、佐々木邦治、(佐野武仁)、清水昭浩、(高井啓明)、(高草智)、(千葉隆文)、(仲野章生)、(中野淳太)、二宮秀典[代理：木下泰斗]、(野部達夫)、(本間睦朗)、(吉田治典)
()付きは欠席、敬称略・順不同

D. 配付資料

資料 No.4-1 2012年度第4回建築設備運営委員会議事次第

資料 No.4-2 2012年度第3回建築設備運営委員会議事録(案)

資料 No.4-3 第3回環境工学委員会議題(羽山主査)

資料 No.4-4-1 環境設備に関する学会基準(AIJES)における性能レベル検討小委員会資料(岡委員)
小委員会廃止申請書・小委員会設置申請書(環境設備に関する学会基準(AIJES)における性能レベル小委員会)・2013年度活動計画・予算原案・小委員会第4回議事録

資料 No.4-4-2 環境選択型空調設計小委員会資料(野部委員)
小委員会廃止申請書・小委員会設置申請書(ヒューマンファクターに配慮した環境構築小委員会)・2013年度活動計画・予算原案

資料 No.4-4-3 気象データ小委員会資料(二宮委員)
小委員会廃止申請書・小委員会設置申請書(建築気象データ小委員会)・2013年度活動計画・予算原案

資料 No.4-4-4 次世代排水システム小委員会資料(坂上委員)
2013年度活動計画・予算原案・小委員会第3回議事録(案)

資料 No.4-4-5 環境建築設計法小委員会資料(羽山主査)
小委員会廃止申請書・小委員会設置申請書(環境建築システム小委員会)・2013年度活動計画・予算原案

資料 No.4-4-6 ガラス建築快適環境 WG 資料(佐々木委員)
2013年度活動計画・予算原案

資料 No.4-5 第8回建築設備シンポジウム 実施報告書(羽山主査)

資料 No.4-5-2 第8回建築設備シンポジウム参加者解析(石野委員)

資料 No.4-5-3 第8回建築設備シンポジウムアンケート集計結果(郡幹事)

資料 No.4-6 2013年度運営委員会活動計画・予算原案・委員委嘱について(羽山主査)

E. 議事：

1. 前回議事録が確認され、一部修正の上承認された(資料 No.4-2)。

議事 3-1)「ガイドライン」→「設計ガイドライン」

2. 第3回環境工学本委員会の報告がされ、依頼事項について審議された(資料 No.4-3)

1)報告

- ・学術推進委員会における予算配分法の見直しがされ、貢献ポイントがさらに重視されるようになった。学術推進委員会の来年度予算は約1000万円減少、環境工学は約180万円(15%)減少する。
- ・大賞候補の推薦状況が報告された。学会賞(論文部会)選考の来年度新委員に高草木先生が推薦された。奨励賞選考の来年度新委員を設備、水環境運営委員会から各1名推薦することになった。
- ・来年度大会について報告された。細分類等の変更があれば11/14までに事務局に連絡する。
- ・学会環境基準(AIJES)の「建築設備管理ガイドライン」(永峰当時主査)が制定から5年を経過するため、改訂の必要性を検討する委員会を設置することになった。
- ・建築設備シンポジウムの実施報告をした。
- ・会員外の委員委嘱申請について、1名ずつ理由の説明を求められた。

2)依頼事項の審議など

- ・来年度奨励賞選考委員として羽山主査を推薦することになった。
- ・会員外の委員には入会を勧めることを確認した。

3. 小委員会の設置申請・次年度活動計画などについて報告された。

1)設置申請について

羽山主査より、各小委員会から提出された書類を新フォーマットに変更した上で本委員会に提出し、承認されたことが報告された。委員公募をする場合は、羽山主査あるいは事務局に連絡する。

2) 環境設備に関する学会基準 (AIJES) における性能レベル検討小委員会 (資料 No. 4-4-1、岡委員)

設置申請書・活動計画案・小委員会議事録について説明された。性能レベルの具体的数値を特定し、使いやすくするために、さらに2年間の活動を行う。

3)環境選択型空調設計小委員会 (資料 No. 4-4-2)

設置申請書・活動計画案 (新主査: 横山計三氏) の確認がされた。来年度は、ヒューマンファクターに配慮した環境構築小委員会として、人間中心の環境制御・設計を検討する。

4)気象データ小委員会 (資料 No. 4-4-2、木下委員代理)

設置申請書・活動計画案 (新主査: 松本真一先生) について説明された。来年度から、2008年以降の拡張アメダスデータの整理、紫外線データの追加の検討を行う。

5)次世代排水システム小委員会)

- ・活動計画案について説明された。来年度は設計ガイドラインの素案作成を行う。
- ・第3回小委員会では、ガイドライン案、貯水機能付き防災ヘッダー、介護用圧送トイレを審議した。

6)環境建築設計法小委員会 (資料 No. 4-4-5、羽山主査)

- ・設置申請書・活動計画案 (新主査: 長井達夫先生) について説明された。環境建築の技術動向、ZEB化進展過程での課題を整理する。

7)ガラス建築快適環境 WG (資料 No. 4-4-6、佐々木委員)

- ・活動計画案について説明された。ガラス建築の居住快適性と健康をテーマに、引き続き出版を目指して活動を継続する。

4. 建築設備シンポジウムについて実施報告がされ、来年度の日程を審議した (資料 No. 4-5、4-5-2、4-5-3)。

- ・羽山主査より、参加者 280 名 (Ustream 参加 7 名) で大変盛況であり、収入 632,000 円、支出 381,390 円、収支差額 250,610 円であったことが報告された。
- ・石野委員より、参加者解析結果について報告された。10 名前後参加頂いた組織がある、毎年 5 名前後参加頂いている組織があるなどの報告がされた。
- ・郡幹事より、参加者のアンケート回答の集計結果が報告された。シンポジウム内容について、満足度の高い評価を得たといえる。
- ・来年度のシンポジウム開催日を審議し、10 月 24 日 (木) に決めた。

5. 本運営委員会の来年度活動計画について、報告された (資料 No.4-6、羽山主査)。

- ・活動計画案 (新主査: 郡) について説明された。幹事を、長井達夫先生 (東京理科大)、長谷川巖氏 (日建設計) にお願ひする。
- ・小委員会の幹事である森川元樹氏 (森川設計)、三浦克弘氏 (鹿島建設)、細淵勇人先生 (秋田県立大) にも委員に加わって頂くようお願いすることになった。

6. 次回、次々回委員会の開催予定について、審議した。

- ・次回は、帯広あるいは北広島で開催することとし、羽山主査に具体化をお願いする。
(委員会後の調整結果 2/9(土)15:00~2/10(日) 於: PS 工業「K クラブハウス」)
- ・次々回は、3/14 (木) 15:00 より京都で開催する。会場などの計画を吉田委員をお願いしている。

(文責: 郡)